

総合振込（XML形式）レコードフォーマット

項番	項目名	XMLタグ ※1				項目属性 ±はタグ -はISO20022基準 ※2	桁数 ※3		アップロード時の設定内容 ※4	設定を省略した場合、 または仕様と異なる値を設定した場合に設定される内容						
		階層									必須	繰返				
		1	2	3	4		5	6					7	8	9	10
1	XML宣言	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>								必須	1	-	-	以下の内容を設定してください。 <?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>	standalone属性を省略した場合、yesが設定されます。 <?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>	
2	XMLドキュメントルート	<Document xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:pain.001.001.03">								必須	1	-	-	以下の内容をXMLタグに設定してください。 <Document xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:pain.001.001.03">		
3	総合振込依頼ルート	<CstmrCdtTrfInIt>								必須	1	-	-	XMLタグを設定してください。		
4	グループヘッダー情報	<GrpHdr>								必須	1	-	-	XMLタグを設定してください。		
5	グループメッセージID	<MsgId>								必須	1	文字	1	35	XMLファイルごとにお客さまにて任意のIDを設定してください。 ・省略する場合、半角スペースを1文字設定してください。	
6	XMLファイル作成日時	<CreDtTm>								必須	1	- (ISODateTime) データ型:DateTime	19	19	XMLファイルの作成日時（西暦、24時間表記）を設定してください。 ・形式：“YYYY-MM-DDThh:mm:ss”（19桁） 例) 2019-03-06T09:05:01 YYYY-MM-DD … 年月日 Thh:mm:ss … 時刻（時分秒、Tは固定値）	以下の23桁（.sss付き）の形式でアップロードした場合、 （.sss）が削除され19桁の形式で設定されます。 形式：“YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sss”（23桁）
7	支払情報数	<NbOfTxs>								必須	1	数字	1	15	項番9「支払情報」<PmtInf>の繰り返し数を設定してください。 ・形式:1桁～15桁の数字（前ゼロなし、カンマなし）	前ゼロありの場合、 前ゼロが削除されます（カンマありの場合、エラーとなります）。
8	開始集団	<InitgPty>								必須	1	-	-	-	XMLタグを設定してください。	
9	支払情報	<PmtInf>								必須	n	-	-	-	XMLタグを設定してください。	
10	支払情報ID	<PmtInfId>								必須	1	文字	1	35	支払情報ごとにお客さまにて任意のIDを設定してください。 ・省略する場合、半角スペースを1文字設定してください。	
11	支払方法	<PmtMtd>								必須	1	- (PaymentMethod3Code) データ型:string	3	3	固定値「TRF」を設定してください。	
12	合計件数	<NbOfTxs>								必須	1	数字	1	6	支払情報に含まれる「取引明細」の合計件数を設定してください。 ・形式:1桁～6桁の数字（前ゼロなし、カンマなし）	前ゼロありの場合、 前ゼロが削除されます（カンマありの場合、エラーとなります）。
13	合計金額	<CtrlSum>								必須	1	数字	1	12	支払情報に含まれる「振込金額」の合計金額を設定してください。 ・形式:1桁～12桁の数字（前ゼロなし、カンマなし）	前ゼロありの場合、 前ゼロが削除されます（カンマありの場合、エラーとなります）。
14	支払種別情報	<PmtTpInf>								任意	1	-	-	-	・「種別コード」はシステムで自動設定されますので、 項番14<PmtTpInf>から項番16<Cd>のXMLタグの設定は不要です。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。	項番14<PmtTpInf>から項番16<Cd>のXMLタグを設定し 「種別コード」に固定値の「OTHR」が設定されます。
15	種別情報	<CtgyPurp>								必須	1	-	-	-	XMLタグを設定してください。	
16	種別コード	<Cd>								必須	1	- (ExternalCategoryPurpose1Code) データ型:string	4	4	固定値「OTHR」を設定してください。	
17	取組日	<ReqdExctnDt>								必須	1	- (ISODate) データ型:Date	10	10	振込指定日（西暦）を設定してください。 ・形式：“YYYY-MM-DD”（10桁） 例) 2019年3月9日の場合 2019-03-09	

項番	項目名	XMLタグ ※1										項目属性 ±はタグ -はISO20022基準 ※2	桁数 ※3		アップロード時の設定内容 ※4	設定を省略した場合、 または仕様と異なる値を設定した場合に設定される内容		
		階層											必須	繰返			最小	最大
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
18	振込依頼人情報														XMLタグを設定してください。			
19	振込依頼人識別情報														・「振込依頼人組織識別詳細情報」、 および「振込依頼人法人番号(法人マイナンバー)情報」の設定を省略する場合、 項番19<Id>から項番28<Cd>のXMLタグを未設定にしてください。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。	省略した場合、 項番19<Id>から項番20<OrgId>のXMLタグが設定されます。		
															XMLタグを設定してください。			
20	振込依頼人組織識別情報														XMLタグを設定してください。			
21	振込依頼人組織識別詳細情報														・「振込依頼人コード(取引企業コード)」の設定を省略する場合、 項番21<Othr>から項番24<Cd>のXMLタグを未設定にしてください。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。	省略した場合、 項番21<Othr>から項番24<Cd>のXMLタグを設定し 「振込依頼人コード(取引企業コード)」に、 お客さまの契約者番号、「振込依頼人概要コード」に、 固定値の「BANK」が設定されます。		
															XMLタグを設定してください。			
22	振込依頼人コード (取引企業コード)														・お客さまの契約者番号を設定してください。 ・企業コードをご利用の場合は、企業コードを設定してください。			
23	振込依頼人概要情報														XMLタグを設定してください。			
24	振込依頼人概要コード														固定値「BANK」を設定してください。			
25	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) 情報														・「振込依頼人法人番号(法人マイナンバー)」の設定を省略する場合、 項番25<Othr>から項番28<Cd>のXMLタグを未設定にしてください。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。(※5)			
															XMLタグを設定してください。			
26	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー)														振込依頼人企業の法人番号(法人マイナンバー)を設定してください。 ・形式:13桁の数字			
27	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) 概要情報														XMLタグを設定してください。			
28	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) 概要コード														固定値「TXID」を設定してください。			
29	振込依頼人口座情報														XMLタグを設定してください。			
30	振込依頼人口座識別情報														XMLタグを設定してください。			
31	振込依頼人口座識別詳細情報														XMLタグを設定してください。			
32	振込依頼人口座番号														振込依頼人の口座番号を設定してください。 ・形式:7桁の数字(前はゼロで埋めてください)	1～6桁の場合、前ゼロで埋め、7桁で設定されます。		
33	振込依頼人預金種目情報														XMLタグを設定してください。			
34	振込依頼人預金種目														振込依頼人の預金種目コード(1:普通預金 2:当座預金)を設定してください。 ・形式:1桁の数字			

項番	項目名	XMLタグ ※1										項目属性 土はタグ -はISO20022基準 ※2	桁数 ※3		アップロード時の設定内容 ※4	設定を省略した場合、 または仕様と異なる値を設定した場合に設定される内容		
		階層											必須	繰返			最小	最大
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
35	仕向金融機関情報											必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
36	仕向金融機関識別情報											必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
37	仕向決済システム識別情報											必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
38	仕向決済システム識別詳細情報											任意	1	土	-	-	・「仕向決済システム識別コード」はシステムで自動設定されますので、 項番38<ClrSysId>から項番39<Cd>のXMLタグの設定は不要です。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。 <div>XMLタグを設定してください。</div>	省略した場合、 項番38<ClrSysId>から項番39<Cd>のXMLタグを設定し 「仕向決済システム識別コード」に 固定値の「JPZGN」が設定されます。
39	仕向決済システム識別コード											必須	1	- (ExternalClearingSystemI dentification1Code) データ型:string	5	5	<div>XMLタグを設定してください。</div> 固定値「JPZGN」を設定してください。	
40	仕向銀行番号											必須	1	数字	4	4	固定値「0005」を設定してください。	
41	仕向銀行名											任意	1	文字	13	13	固定値「ミツビシユーエフジエイ」を設定してください。 省略する場合、「仕向銀行名」<Nm>のXMLタグを未設定にしてください。	固定値の「ミツビシユーエフジエイ」が設定されます。
42	仕向支店情報											必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
43	仕向支店番号											必須	1	数字	3	3	仕向支店番号を設定してください。 ・形式:3桁の数字(前はゼロで埋めてください)	
44	仕向支店名											任意	1	店舗名称属性	1	15	仕向支店名を設定してください。 省略する場合、「仕向支店名」<Nm>のXMLタグを未設定にしてください。	省略した場合、 「仕向支店番号」の支店名称が設定されます。
45	振込依頼人情報											必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
46	振込依頼人名											必須	1	名称属性	1	40	振込依頼人名を設定してください。	
47	取引明細											必須	n	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
48	支払識別情報											必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
49	取引明細識別番号 (振込依頼人発行)											必須	1	文字	1	35	取引明細ごとにお客さまにて受取人企業への連携するための任意のIDを設定(※5) ・省略する場合、半角スペースを1文字設定してください。	
50	振込金額情報											必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
51	振込金額											必須	1	数字	1	10	振込金額を設定してください。 ・形式:1桁～10桁の数字(前ゼロなし、カンマなし) 例)金額20,000円の場合 <InstdAmt Ccy="JPY">20000</InstdAmt>	前ゼロありの場合、 前ゼロが削除されます(カンマありの場合、エラーとなります)。
52	被仕向金融機関情報											必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
53	被仕向金融機関識別情報											必須	1	土	-	-	「被仕向金融機関識別情報」には「被仕向銀行番号」または 「被仕向銀行名」の設定が必要です。 <div>XMLタグを設定してください。</div>	
54	被仕向決済システム識別情報											任意	1	土	-	-	・取込ファイルの指定(XMLファイル)画面で「コードのみで指定する」に チェックをせず、「被仕向銀行番号」の設定を省略する場合は、 項番54<ClrSysMmbld>から項番55<Mmbld>のXMLタグを未設定としてください。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。 <div>XMLタグを設定してください。</div>	省略した場合、 項番54<ClrSysMmbld>から項番55<Mmbld>の XMLタグを設定し、「被仕向銀行名」より 「被仕向銀行番号」が設定されます。
55	被仕向銀行番号											必須	1	数字	4	4	<div>XMLタグを設定してください。</div> 被仕向銀行番号を設定してください。 ・形式:4桁の数字(前はゼロで埋めてください)	
56	被仕向銀行名											任意	1	文字	1	15	「被仕向銀行名」の設定を省略する場合、 「被仕向銀行名」<Nm>のXMLタグを未設定としてください。	省略した場合、 設定した「被仕向銀行番号」より「被仕向銀行名」が 設定されます。

項番	項目名	XMLタグ ※1										項目属性 ±はタグ -はISO20022基準 ※2	桁数 ※3		アップロード時の設定内容 ※4	設定を省略した場合、 または仕様と異なる値を設定した場合に設定される内容		
		階層											必須	繰返			最小	最大
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
57	手形交換所番号情報							<Othr>				任意	1	±	-	-	「手形交換所番号」はBizSTATIONでは未使用のため、 項番57<Othr>から項番58<Id>のXMLタグを未設定としてください。	「手形交換所番号」の設定をした場合、 項番57<Othr>から項番58<Id>のXMLタグごと削除されます。
58	手形交換所番号							<Id>				必須	1	数字	4	4		
59	被仕向支店情報							<BrnchId>				必須	1	±	-	-	・「被仕向支店情報」には「被仕向支店番号」または「被仕向支店名」の設定が必要です。 ・項番53「被仕向金融機関識別情報」に 項番55「被仕向銀行番号」のみが設定されている場合、 項番60「被仕向支店番号」の設定が必要です。 ・項番53「被仕向金融機関識別情報」に 項番56「被仕向銀行名」のみが設定されている場合、 項番61「被仕向支店名」の設定が必要です。 XMLタグを設定してください。	
60	被仕向支店番号							<Id>				任意	1	数字	3	3		
61	被仕向支店名							<Nm>				任意	1	店舗名称属性	1	15	被仕向支店名を設定してください。 ・「被仕向支店名」の設定を省略する場合、 「被仕向支店名」<Nm>のXMLタグを未設定としてください。	省略した場合、 設定した「被仕向銀行番号」と「被仕向支店番号」より、 「被仕向支店名」が設定されます。
62	受取人情報							<Cdtr>				必須	1	±	-	-	XMLタグを設定してください。	
63	受取人名							<Nm>				必須	1	名称属性	1	48	受取人名を設定してください。	
64	受取人識別情報							<Id>				任意	1	±	-	-	・「受取人法人番号(法人マイナンバー)情報」、 「顧客コード1情報」、および「顧客コード2情報」の設定を省略する場合、 項番64<Id>から項番77<Prtry>のXMLタグを未設定にしてください。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。 XMLタグを設定してください。	
65	受取人組織情報							<OrgId>				必須	1	±	-	-	XMLタグを設定してください。	
66	受取人法人番号 (法人マイナンバー) 情報							<Othr>				任意	1	±	-	-	・「受取人法人番号(法人マイナンバー)」の設定を省略する場合、 項番66<Othr>から項番69<Cd>のXMLタグを未設定にしてください。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。(※5) XMLタグを設定してください。	
67	受取人法人番号 (法人マイナンバー)							<Id>				必須	1	数字	13	13	受取人企業の法人番号(法人マイナンバー)を設定してください。 ・形式:13桁の数字	
68	受取人法人番号 (法人マイナンバー) 概要情報							<SchmeNm>				必須	1	±	-	-	XMLタグを設定してください。	
69	受取人法人番号 (法人マイナンバー) 概要コード							<Cd>				必須	1	- (ExternalOrganisationIden- tification1Code) データ型:string	4	4	固定値「TXID」を設定してください。	

項番	項目名	XMLタグ ※1										項目属性 土はタグ -はISO20022基準 ※2	桁数 ※3		アップロード時の設定内容 ※4	設定を省略した場合、 または仕様と異なる値を設定した場合に設定される内容		
		階層											必須	繰返			最小	最大
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
70	顧客コード1情報										<Othr>	任意	1	土	-	-	・「顧客コード1」の設定を省略する場合、 項番70<Othr>から項番73<Prtry>のXMLタグを未設定にしてください。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。	
71	顧客コード1										<Id>	必須	1	EDI属性	1	10	XMLタグを設定してください。 顧客コード1を設定してください。	
72	顧客コード1概要情報										<SchmeNm>	必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
73	顧客コード1概要名										<Prtry>	必須	1	- (Max35Text) データ型:string	14	14	固定値「Customer Code1」を設定してください。	
74	顧客コード2情報										<Othr>	任意	1	土	-	-	・「顧客コード2」の設定を省略する場合、 項番74<Othr>から項番77<Prtry>のXMLタグを未設定にしてください。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。	
75	顧客コード2										<Id>	必須	1	EDI属性	1	10	顧客コード2を設定してください。 ・顧客コード2に振込依頼人番号を設定する場合の形式:1桁～10桁の数字 ・顧客コード2に振込依頼人番号を設定する場合、 項番86「識別表示および仕向金融機関指示情報」<InstrForDbtrAgt>に 「X」を設定してください。	
76	顧客コード2概要情報										<SchmeNm>	必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
77	顧客コード2概要名										<Prtry>	必須	1	- (Max35Text) データ型:string	14	14	固定値「Customer Code2」を設定してください。	
78	受取人口座情報										<CdtrAcct>	必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
79	受取人口座識別情報										<Id>	必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
80	受取人口座識別詳細情報										<Othr>	必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
81	受取人口座番号										<Id>	必須	1	数字	7	7	受取人の口座番号を設定してください。 当行宛の場合:数字 (預金種目が9「その他」の場合は、スペースの設定が可能) 他行宛の場合:数字記号 (ハイフン、スペースを含む番号の設定が可能)	1～6桁もしくは前スペースがある場合、以下のとおり設定されます。 当行宛: ・預金種目が9「その他」: 前スペース削除後、後スペースで埋め7桁で設定されます。 ・預金種目が1「普通預金」、2「当座預金」、4「貯蓄預金」: 前ゼロで埋め、7桁で設定されます。 他行宛: ・前スペース削除後、後スペースで埋め7桁で設定されます。
82	受取人預金種目情報										<Tp>	必須	1	土	-	-	XMLタグを設定してください。	
83	受取人預金種目										<Prtry>	必須	1	数字	1	1	受取人の預金種目コード(1:普通預金 2:当座預金 4:貯蓄預金 9:その他)を設定してください。 ・形式:1桁の数字	
84	振込指定区分情報										<InstrForCdtrAgt>	任意	1	土	-	-	・「振込指定区分」はシステムで自動設定されます (ただしダウンロードファイルへの設定は省略されます)ので、 項番84<InstrForCdtrAgt>から項番85<InstrInf>のXMLタグの設定は不要です。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。	
85	振込指定区分										<InstrInf>	任意	1	数字	1	1	固定値「7」(7:テレ振込)を設定してください。 ダウンロードファイルへの設定は省略されます	・7「テレ振込」が設定されます ・ダウンロードファイルへの設定は省略されます
86	識別表示および仕向金融機関指示 情報										<InstrForDbtrAgt>	任意	1	文字	1	1	識別表示を設定 X: 項番75「顧客コード2」の内容を振込依頼人番号として扱います (項番90「金融EDI情報」を未設定にしてください) Y: 項番90「金融EDI情報」の内容を金融EDI情報として扱います (項番71「顧客コード1」、項番75「顧客コード2」を未設定にしてください) 上記以外はスペースを設定(項番90「金融EDI情報」を未設定にしてください)	・先頭1桁目が「X」、「Y」以外の場合、スペースに変換されます ・2桁目以降に設定した内容は削除されます ・「X」を設定していても項番75「顧客コード2」が未設定の場合、 スペースに変換されます。 ・「Y」を設定していても項番71「顧客コード1」、 項番75「顧客コード2」、項番90「金融EDI情報」が 未設定の場合は、スペースに変換されます。 ・「X」またはスペースを設定していても項番90「金融EDI情報」が 設定されている場合、「Y」に変換されます。

項番	項目名	XMLタグ ※1										項目属性 土はタグ ーはISO20022基準 ※2	桁数 ※3		アップロード時の設定内容 ※4	設定を省略した場合、 または仕様と異なる値を設定した場合に設定される内容		
		階層											必須	繰返			最小	最大
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
87	新規コード情報					＜Purp＞					任意	1	土	－	－	・「新規コード」はシステムで自動設定されますので、 項番87＜Purp＞から項番88＜Prtry＞のXMLタグの設定は不要です。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。 <div>XMLタグを設定してください。</div> <div>固定値「0」(0:その他)を設定</div>	省略した場合、 項番87＜Purp＞から項番88＜Prtry＞のXMLタグ、 「新規コード」にその他「0」が設定されます。	
88	新規コード					＜Prtry＞					必須	1	数字	1	1			
89	商流情報					＜RmtInf＞					任意	1	土	－	－	・「金融EDI情報」を未設定とする場合、 項番89＜RmtInf＞から項番90＜Ustrd＞のXMLタグを未設定にしてください。 ・設定する場合、以下の内容を設定してください。 <div>XMLタグを設定してください。</div>		
90	金融EDI情報					＜Ustrd＞					任意	n	－ (Max140Text) データ型:string	1	140	取引明細に関連した金融EDI情報を設定してください。 本タグは、1文字から140文字の範囲の文字数の設定が可能であり、 金融EDI情報が140文字を超える場合は、「Unstructured」(＜Ustrd＞タグ)を、 BizSTATIONで規定するファイルサイズ制限内、かつ繰返し数制限内で複数回繰返し 設定することが可能です。 なお、「Unstructured」(＜Ustrd＞タグ)には、XMLタグを含むデータの設定ができない ため、金融EDI情報としてXMLタグを含むデータを設定する場合は、base64エンコード を実施する必要があります。 base64でエンコードした場合、先頭の3行にMIMEヘッダーを設定してください。 これにより金融EDI情報の取得時に、金融EDI情報がbase64でエンコードされていること を把握することが可能となります。 4行目以降にbase64エンコードした文字列を76文字ごとに改行し、 各行を＜Ustrd＞＜/Ustrd＞タグで囲み設定してください。 ●MIMEヘッダー(先頭の3行)の内容 ＜Ustrd＞MIME-Version: 1.0＜/Ustrd＞ ＜Ustrd＞Content-Type: text/xml＜/Ustrd＞ ＜Ustrd＞Content-Transfer-Encoding: base64＜/Ustrd＞ ●4行目以降 ＜Ustrd＞xxxxxxxxxx＜/Ustrd＞ ＜Ustrd＞xxxxxxxxxx＜/Ustrd＞ 「xxxxxxxxxx」は、base64でエンコードした内容を1行に76文字まで設定可能です。		

必須、繰返、桁数で全銀仕様(ISO20022定義)と異なる場合、赤文字で記載しています。

- ※1 XMLタグ
Document Type Definition(文書型定義)を使用するとフォーマットエラーとなります。
必須
必須:上位のXMLタグを設定する場合、
当該XMLタグの設定は必須です。
任意:XMLタグの設定は任意です。
- 繰返
1:XMLタグを複数設定できません。
n:XMLタグをファイルサイズ制限内かつ繰返し制限内で複数回繰返し設定できます。
BizSTATIONのファイルサイズ制限:12MB(12,582,912バイト)
項番9「支払情報」<PmtInf>の繰返し制限:100回
項番47「取引明細」<CdtTrfTxInf>の繰返し制限:50,000回
項番90「金融EDI情報」<Ustrd>の繰返し制限:500回

- ※2 項目属性
次頁「使用可能文字について」を参照。
ISO20022基準の項目は、括弧内にRepresent/Typeを記載しています。

- ※3 桁数
最小から最大の範囲で設定できる文字数になります。

- ※4 XMLファイルの改行コード設定について
改行コードの設定は任意です。改行コードを設定しアップロードした場合、ダウンロード時には削除され、改行なしのXMLファイルが作成されます。

- ※5 金融EDI情報の設定と関連する情報
「振込依頼人法人番号(法人マイナナンバー)」、「取引明細識別番号(振込依頼人発行)」、「受取人法人番号(法人マイナナンバー)」については「金融EDI情報」の設定がないと受取人へは送信されません。

全銀ファイル(固定長)との項目対比表は、全国銀行協会の「XML形式適用業務およびレコード・フォーマット」のマッピング定義「(1)【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマットと総合振込レコード・フォーマット(固定長)」(29ページ)をご参照ください。

使用可能文字について

1) 文字コード

XMLファイルで使用する文字コードは、ISO20022 が指定するUnicode (UTF-8) です。
ISO20022が指定するUnicode (UTF-8) の範囲を使用可能文字としています。

2) 項目属性ごとの使用可能文字

[1]ISO20022基準

- ISO20022の使用可能文字範囲に準拠する場合は項目属性を“-”としISO20022で規定されている Represent/Typeを括弧内に記載しています。
- 「金融EDI情報」で使用できる漢字の水準はJIS第三水準までとなります。
- 「&」等の予約文字を設定する場合、実体参照による記述をしてください(※1予約文字一覧参照)。

※1予約文字一覧

予約文字	意味	実体参照
&	アンパサンド	&
<	小なり	<
>	大なり	>
“	二重引用符	"
‘	引用符	'

[2]数字

属性	文字一覧
数字	0123456789

[3]文字

属性	文字一覧
数字	0123456789
英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
カナ文字	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨヲリルレロワヲン
濁点半濁点	〃
記号	¥「」()~/*&\$%,.@=%+;
スペース	半角スペース

「&」の予約文字を設定する場合、実体参照による記述をしてください(※1予約文字一覧参照)。

[4]店舗名称属性(「仕向支店名」、「被仕向支店名」のみで使用)

属性	文字一覧
数字	0123456789
英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
カナ文字	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨヲリルレロワヲン
濁点半濁点	〃
記号	-
スペース	半角スペース

[5]名称属性「振込依頼人名」、「受取人名」

属性	文字一覧
数字	0123456789
英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
カナ文字	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨヲリルレロワヲン
濁点半濁点	〃
記号	()-.
スペース	半角スペース

[6]EDI属性「顧客コード1」、「顧客コード2」

属性	文字一覧
数字	0123456789
英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
カナ文字	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨヲリルレロワヲン
濁点半濁点	〃
記号	¥「」()~/*&\$%,.@=%+;
スペース	半角スペース

[4]店舗名称属性、[5]名称属性、[6]EDI属性については
全国銀行協会の「XML形式 適用業務およびレコード・フォーマット」の基準となります。